

「長岡京市立地適正化計画（令和4年3月改訂）（素案）」に対する意見募集の結果について

■ 意見募集期間

令和3年11月8日（月）～ 令和3年12月7日（火）まで

■ 意見提出数

4名（9件）

■ 意見の内容とこれに対する市の考え方

番号	意見の該当箇所	意見の内容	市の考え方
1	第2章 都市計画図 (P6-8)	都市構造図で山麓住宅地域にあたる長岡天神付近の建ぺい率、容積率の規制が厳しすぎる。 また、天神地域の一部区域のみ周辺と建ぺい率、容積率が違っている理由が分からない。 立地適正化というなら、制限内容の整合性がとれるように見直してもらいたい。	本計画は、市の都市計画との整合性を保ちつつ、居住を誘導するエリアや都市機能を誘導するエリア、そのエリアに誘導する施設を設定し、それらを誘導するための施策等を記載する計画です。 ご意見にある容積率等の見直しについては、都市計画の中で、今後の社会環境の変化等を踏まえ、必要に応じて検討していきますので、ご意見として承り、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
2	下の表 文化施設 (P22)	西山キャンプ場も入れておいて欲しい。 上から6行目「文化施設は、西山キャンプ場、スポーツ関連施設を除いて」とする。 理由：長岡京市HP、市民ガイドブックにも文化施設・生涯学習施設として掲載されているため。	ご意見を踏まえ、下表の文化施設に「西山キャンプ場」を追加し、文章(6行目)は「文化施設は、スポーツ関連施設等を除いた」と修正します。
3	第2章 2-2 都市の現状及び将来見通し (P11-53)	全体的にニーズが見えにくいと感じていましたが、(9)においてニーズをまとめています。ニーズをまとめるのではなく各項目に振り分けて記載した方がわかりやすいと思います。	第2章では、人口や都市交通など、項目ごとに現状や将来の見通しを記載しているもので、「(9)市民ニーズ」についても、それらの項目の一つとして、現状の市民ニーズを記載しています。 ここでお示した市民ニーズは、複数の項目に関連するものもあり、一つの項目でまとめた方が煩雑にならずわかりやすいと考えますので、素案どおりとします。
4	第4章 4-2 居住誘導区域の設定 P67「浸水想定区域については、本市の居住誘導区域に含めることとしま	居住誘導区域に含める理由として、速やかな情報伝達により避難が可能とされているが、これまでの災害の例からみて、認知が速やかな行動に移らないことが被害を拡大している。 また、いろは呑龍トンネルの完成までに浸水が起こる可能性が考えられ、完成したとしても近年の気候変動の急速な進行により、想定外の大雨が降ることも予測される。 以上のことから、浸水想定区域は居住誘導	浸水想定区域は、「想定し得る最大規模(1000年に一度)の降雨を前提とした区域」が示されております。 本市の浸水想定区域は、市街化区域の約4割の広範囲に及んでおり、既に多くの市民が居住し周辺も含め一体の生活圈を形成しています。都市計画運用指針でも広範囲に及ぶ浸水エリアを居住誘導区域から全て除くことは現実的に困難であることが示されており、市としても

	す」	区域から外すべきである。	<p>浸水想定区域を居住誘導区域から除外することは現実的ではないと考えます。</p> <p>このため、本計画では、災害リスクに対するソフト・ハード両面の防災・減災対策を推進することを前提に、居住誘導区域から除外しない考えですが、より災害リスクの高いエリアについては、災害リスクの周知徹底や、速やかな情報伝達から早期の避難行動に確実につなげていくための対策を、より迅速かつ重点的に実施していく必要があると考えています。</p> <p>以上のことから、上記対策を徹底することを前提に、居住誘導区域については素案どおりとします。</p> <p>なお、本計画は概ね5年ごとに計画の評価を行い見直すこととしており、今後も新たな知見等を踏まえながら、必要に応じて区域の見直し等を検討していきます。</p>
5	第4章 d)用途地域について (P66-69)	<p>用途地域については建築基準だけではなく、京都府環境を守り育てる条例における騒音・振動基準に合わせた見直しも必要ではないか。</p> <p>工場が撤廃してその跡地に住宅が建てられるケースも多く見られるが、用途の区分変更がされていない。環境の変化に応じた対応が必要。</p>	<p>用途地域の見直しについては、都市計画の中で、将来の本市を取り巻く社会環境の変化や市民ニーズの変化などを踏まえながら、必要に応じて検討していきますので、ご意見として承り、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
6	P89 防災指針 下から8行目の表現「いつ災害が発生し、人命や財産に危険が及ぶか分かりません」	<p>「災害が発生し、人命や財産に危険が発生することを日頃から意識、自覚して「構え」ておかなければなりません。」とする。</p> <p>理由:P10、13行目の趣旨を入れる。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「いつ災害が発生し、人命や財産に危険が及ぶか分からないため、<u>災害に対する日常の「構え」が必要となります。</u>」に修正します。</p>
7	第8章 8-4 防災まちづくりの将来像と取組方針 (P91)	<p>リスクの低減(ソフト)で、小畑川、犬川における洪水時を想定して、新たに浸水マップを作成して要所に掲示する必要もあるように感じる。</p> <p>また、桂川右岸に対する警戒も強化すべき。淀川河川事務所に依頼して、浸水マップを増設すべき。また、(ハード)の方では水位観測地点を増やすべきではないか。</p>	<p>市内全戸に配布しました「長岡京市防災ハザードマップ(2019年5月作成 修正版)」は、桂川および小畑川・小泉川等(犬川を含む)の浸水想定区域を掲載しており、転入者や希望者への配布を継続して行い周知に努めています。</p> <p>浸水マップの要所への掲示や水位観測所の設置については、関係機関との協議の上、必要があれば対応していくこととするため、素案どおりとします。</p>
8	P91 右表「取組内容とスケジュール」 リスクの低減(ハ	<p>災害時の物流集積地点の2カ所目の設定を項目として入れて欲しい。</p> <p>理由:1カ所(スポーツセンター)だけでなく複数個所持っておいた方が良いと思います。</p>	<p>ご意見にあるとおり、災害時の物資集積拠点については複数の候補を計画することが望ましく、長岡京市地域防災計画において、長岡京市立スポーツセンターのほか、長岡第四中学校備</p>

	ード)の項目		蓄倉庫と南部地域防災センターの計3箇所をその予定地として計画していますので、素案どおりとします。
9	P111 公共交通に関する目標値 7.4%の説明	<p>人口密度の説明と同じような「現状のまま推移した場合」を入れられないでしょうか。傾向値(トレンド)でもよい。</p> <p>理由:努力して維持する表現の方が良いのでは。老年人口は増えるので(P14)上がる要素も取り込んで維持する。</p>	<p>公共交通の課題については、人口減少のみならず、現役世代の割合の減少や、鉄道駅や道路の整備、インターネットの活用やテレワークの普及によるライフスタイルの変化など、様々な要因によって利用が減り、その維持が困難な状況となっています。従って、人口密度と同様の表現で現状のまま推移した場合の数値を示すことは適切ではないと考えます。</p> <p>上記を踏まえ、「公共交通と連携したまちづくりを進めていくことにより、<u>人口減少や少子高齢化の進展、新型コロナウイルスの影響を契機としたライフスタイルの変化などに伴い利用者の減少が想定される路線バス及びコミュニティバスの利用率を、現状値と同じ状態に維持することを目標値とします。</u>」に修正します。</p>